

栃木県シルバー大学校南校 同窓会栃木支部だより	第28号 2017年11月1日	シルバー大学校南校 同窓会 栃木支部 発行人 村上新一
-----------------------------------	---------------------------	-----------------------------------

「栃木支部29年度定期総会開催される」

10月4日（水）平成29年度定期総会が南校第1教室で開催されました。

当日は栃木市長（代理）、野沢教務部長、からご挨拶をいただいた後、下記の案件について検討されました。

- 1、平成28年度事業報告、及び収支決算、監査報告について。
- 2、平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）について。
- 3、平成29年度役員改選（案）について（下記の新役員がきました。）

最後に出席者によって案件が承認され、無事定期総会が終了しました。

平成29年度 新役員名簿

役職名	氏名	期別	役職	氏名	期別
相談役	大栗 利	32期	総務	小野 節	35期
支部長	村上 新一	33期	総務	出井 康	36期
副支部	早川 泰	33期	総務	柏崎敏彦	37期
副支部	森戸 稔	34期	会計	丹澤 則	36期
副支部	鈴木 清	34期	会計	丹澤 則	36期
副支部	中岡健一	34期	会計	伊藤咲子	37期
総務	高田 和	35期	監査	藤江 秀	36期
総務	沢畑 克	35期	監査	高久八郎	37期

今年度、37期生が29名新会員になりました

2017年10月4日現在の会員は、212名です

支部長の新任あいさつ



平成29年度県シルバー大学校南校同窓会 栃木支部総会において支部長の承認を頂きました33期（3班）の村上新一です。今年度37期生29名を迎え、支部会員は212名です。各員におかれましては、生きがい推進としての活躍また、在校時の教訓を生かして日々の生活に邁進しておられますことを信じております。

諸先輩の教訓を基に「会員相互の交流と地域に貢献できる活動」を「時代の変化に適応できる」栃木支部としていきたいと考えています。各行事について、役員、班長、実行委員と具体的に協議策定中です。会員皆様が多く参加していただけるように努力したいと思います。

「きょういく＝今日、行くところがあること」・「きょうよう＝今日、用があること」に留意して会員共に元気で充実した生活を過ごしていきましょう。

皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

新年度になりました。私35期の奉仕部部長に任命されました高田和軌です。今年一年皆さんと楽しく活動してまいりたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、10月11日の永野川緑地公園の清掃活動はお忙しい中、市の公園地課の斉藤昌巳課長においでいただきました。日頃のシルバー大学のOB会栃木支部の活躍を労われ今後の活動を激励されました。

奇数月は栃木駅周辺、偶数月は永野川緑地公園の清掃です。月一回お互いの安否確認、近況報告を兼ねての集まりは楽しいです。

37期生お待ちしております。

※月齢清掃活動（毎月第一水曜日）

☆ 活動場所

永野川緑地公園・・・偶数月

栃木駅北口周辺・・・奇数月

☆ 活動時間 午前9時～10時

☆ 作業内容

ゴミ拾い 除草等（手袋、火ばさみ、鎌）

☆ 服装 奉仕活動が出来る服装

文化部

平成28年度、懇親・研修の旅を実施

開催日：平成29年9月7日（木）

行き先：茨城県北茨城市

【天心記念五浦美術館、漁業歴史資料館「よう・そろー」、六角堂、野口雨情記念館】

参加者が20名と少なく、取りまとめを終えた段階で開催が危ぶまれました。人数が少なすぎてバス代が高くなるからです。しかし、前支部長のお骨折りと皆さんのご協力により懇親・研修の旅が出来ることになりました。部長として、それは、それは、奇跡が起きたかのように思えました。

さて、行き先は北茨城市です。

近代美術の創始者・岡倉天心がこよなく愛したところ、そして野口雨情が生まれたところです。

そこにはきれいな海があり、美術館には偉大な岡倉天心の資料と共に横山大観・下村観山・菱田春草らの絵がありました。また、記念館には、

「しゃぼん玉」・「赤い靴」などの詩があり、庭には、しゃぼん玉が飛んでいました。

漁業資料館では、大津の街中を曳きまわす船の祭りと平成23年の地震による被害状況を、館長さんが丁寧に説明をしてくれ、帰る時には私達のバスを見送ってくれました。感謝です。

今回の旅、20名と言う少ない人数で大いに懇親を深め、沢山の研修をした旅でした。

前文化部部長 松本光司



37期生「地域学習会」開催

開催日 平成29年8月24日(木)

場所 県シルバー大学校南校 第1教室



来賓された教務部長から南校卒業生は約3,200名で内栃木支部は、1,054名おり、

全体の3分の1を占めていること、今回入学の39期

生は、120名（男60名・女60名）との報告があった。

また、栃木市保健福祉部 地域包括ケア推進課長の首長様から《改めて「福祉」を考える》とした講話を戴き、最後に「きょういく」と「きょうよう」についての話で締められた。

休憩後、懇談会では自己紹介・支部活動概況・部門別活動の発表を行い、今年度37期生29名を迎えた学習会を行った。

「キョウヨウ」と「キョウイク」について

（2013年7月14日朝日新聞「天声人語」より）



体が引き締まり、日に焼け、すこぶる元気そうである。すこし前に退職した会社の先輩と先日偶然会い、立ち話をした。日々の暮らしぶりを楽

しげに語ったが、そこには秘訣（ひけつ）があるらしい▼

「キョウヨウと「キョウイク」なのだという。教養と教育かと思いきや、さにあらず。「今日、用がある」と「今日、行くところがある」の二つである。なるほど何も用事がなく、どこにも行かない毎日では張り合いがあるまい、かつての同僚からきかされて実践しているという▼その同僚も誰かから聞いた

というから、かなり流布している教えなのだろう。

調べてみると、『頭の体操』で知られる心理学者の多湖輝（たごあきら）さんの著書に行き着いた。

（中略）多湖さんも100歳に近い大先輩に教わったのだそうだ。「ボケないための頭の使い方」を実に巧みに表現した言葉だと絶賛する。老後をどう生き生きと過ごそうかと誰しも考える。この話はわかりやすく、納得感もあるから、伝言ゲームよろしく広がっていくのも道理だろう▼・・・以下略

支部だよりの発行にあたり御協力ありがとうございました。これから一年間よろしくお願い致します。

編集部 五味